北相模総守護社

亀ヶ池八幡宮

社報 亀ヶ池

第2号［平成19年1月1日発行］

発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
URL http://www.kamegaike.jp
E-mail : info@kamegaike.jp

相模原市重要無形文化財 神代神楽 亀山社中

いちょう

長く続いた鎖国時代から開放され、文明開化を迎えた日本は明治の時代に入り、外国の思想・文化・風俗が枚挙に遑が無い程に流れ込んできた。すべてが変化してきたようだ。ローソクやカンテラ等で生活を送ってきたが電気がそれに替わった。その時、一つの町工場から二股ソケットが考案されヒット商品となった。これを考え世に出した人が日本一の起業家として知られた松下電器産業の初代社長の松下幸之助氏である。その松下氏は「貧しさの中なら労りだけで十分子は育つ。だが豊かさの中では精神的な厳しさを与えなければ鍛えられない」と説いている。

“鉄は熱いうちに打て”“可愛い子には旅をさせよ”とも言われる。現代の物質的な豊かさの中で、子どもたちが真に幸福な人生を歩むためには、愛情に支えられた真摯な厳しさこそが求められると思う。

（信）

年頭のご挨拶

宮司　根岸信行

新年明けましておめでとうございます。

平成十九年丁亥年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の平安とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年、皇室におかれましては、御慶事があり、先ず九月六日に秋篠宮家におかれましては、天皇家として実に四十一年振りの親王殿下がご誕生され、「悠仁親王殿下」と御命名し、皇統譜に御登録され、国民挙って御祝辞を申し上げました。また、十二月一日には皇太子家の愛子内親王殿下におかれましては、五歳の誕生日をお迎えになり、着袴の儀が行われ、皇太子・同妃両殿下に伴われてポニーの乗馬を楽しまれる御一家の微笑ましい写真が公開されました。

さて、日本は終戦後六十一年。人間に例えると還暦を過ぎ、第二の人生を歩む年であります。岩戸景気や神武景気に支えられ、東京オリンピックが行われ、高速道路や新幹線が出来、総国民が豊かさの中で生活してきましたが、平成時代に入るやバブルが弾け、以後十数年景気低迷から脱却できず過ぎ心に歪みが生じた影響でしょうか、昨年は将来の日本を背負う子どもたちに「いじめ」「自殺」また「虐待」等の問題が多発しました。

「国造り百年の計は教育にあり」と申されます。戦後の新しい日本の教育の根本理念を確定した教育基本法も爾来六十年現今の教育にそぐわなくなり、改定の議論が高まり、昨年十二月十五日、国会において改正教育基本法が成立しました。国を愛する態度（愛国心）や父母等保護者の養育責任（家庭教育）等、美しい日本を取り戻すべき条項が盛り込まれましたが、祖先を敬い神仏を尊ぶ心（宗教教育）は盛り込まれず残念であります。いよいよ日本を背負う将来の子どもたちが夢や希望・勇気を持って、世のため人のために尽くすような大人に成長することを期待してやみません。

平成十八年例大祭斎行

当八幡宮の例大祭は、九月十七日（日）に斎行されました。前日には十三号台風が九州に上陸し、天候が大変危ぶまれましたが、午前十時の式典は天気に恵まれ、神奈川県神社庁理事・吉田修氏（横浜日枝大神宮司）を献幣使にお迎えし、小林亮総代長はじめ、当宮役員・世話人・来賓・氏子崇敬者等、大勢の御参列を賜り、厳粛な雰囲気の中で斎行されました。

式典終了後の直会も盛大に行われました。夕刻からはプロ歌手の出演を中心に氏子の舞踊・カラオケ等、沢山の余興で夜が更けるのも忘れ、盛大なうちに幕が下りました。「五部会」「石橋」の両お囃子保存会の皆様、奉納囃子ありがとうございました。

謹賀新年

宮司
根岸信行

禰宜
根岸浩行

権禰宜
根岸千恵子
根岸満理
山田一臣

責任役員
小林亮
練間清崇

総代
竹内一郎
清水亨
鈴木正彦

世話人
（四ッ谷）米山侃　小俣旭　吉川和宏
（久保）中村善一　門倉國政　鈴木敬信　中村之三
（日金沢）上島茂三郎　吉川佳一　加藤光明
（本町）五味文市　山田昌士　金指幹夫
（石橋）松本茂　無藤一男
（元町）木上亨　熊坂弘次　村山昭人
（田中）佐藤林作　井上七五三　北畠捷一
（田尻）関田清　関田崇成
（番諏）金沢博文　清水恵二
（虹吹）金子兼吉　金子俊次
（丸崎）大野寛次　鈴木武雄
（本久）根岸良郎　荒木茂　佐藤正義
（石往）田中正志

氏子会への入会ご希望の方は右記総代世話人へご連絡ください。

華やかに七五三参り

いにしえより「子は宝なり」と言われています。お子様は生後三十日余りで「初宮参り」をして、無事生まれたことを神様に感謝し、すくすく育てとお願いをします。ご両親やご祖父母の大きな期待を込めて育まれるお子様は「お喰初祝」や「初誕生祝」等のお祝いをして大きく育っていきます。

男女祝児共に三歳を髪置、男児五歳を袴着、また女児七歳を帯解と言われ、江戸時代からの習わしに従い、毎年十一月十五日を挟んで、当八幡宮では晴れ着を着た多くの可愛らしい祝児等で賑わいました。将来の日本を背負っていく立派な大人に成長してくださるよう、ご祈念いたします。

お祝いを受ける星が丘幼稚園園児たち

神奈川県神社庁設立六十周年 同神社総代会連合会設立五十周年 記念大会開催

去る平成十八年は、大東亜戦争終結後の混乱の最中、神社の護持と斯界の結集を図るために神社本庁（東京都渋谷）の地方機関としての神奈川県神社庁（横浜市磯子）が設立六十周年を、また同神社総代会連合会が設立五十周年をそれぞれ迎えました。

そこで、同年十一月二十七日、午前十一時よりパシフィコ横浜で神職総代関係物故者慰霊祭が斎行され、当八幡宮根岸満理権禰宜が「御霊安かれ」と神前舞「朝日舞」を奉納いたしました。午後一時から記念大会式典が開催され、県神社総代会連合会小林亮会長（亀ヶ池八幡宮総代長）等が式辞を述べられました。また当八幡宮根岸宮司は表彰の栄に浴されました。式典後、記念講演があり、台湾総統譜国策顧問の金美齢氏が「今、神社関係者に期待すること」と題して講演され、盛会裡に記念大会の幕は下ろされました。

相模中央支部研修会実施

平成十七年四月、神奈川県神社庁相模中央支部（県内十支部の一つ）が発足し、初代支部長に当八幡宮根岸信行宮司が就任しました。

本年度は結成二年目であり、神職相互の研修を企画しました。近年高齢化が進み、正月や例祭時等にはお年寄りの参拝者も多くなり、病気や怪我が発生した時の応急処置として、特に心臓停止時の心肺蘇生法（人工呼吸・心臓マッサージ）をダミー人形を使って実習。AED（自動体外式除細動器）の使い方の説明を聞き、一刻も早い手当てが尊い命を救うことができることを学びました。

石玉垣ご奉賛のお願い

道路拡幅工事に伴い、境内外周に石玉垣建設を実施し、平成15年12月に完成いたしました。以来、氏子崇敬者の皆様には赤誠の意を以ってご奉賛賜っておりますが、より一層のご理解とご協賛くださいますようお願いいたします。

ご奉賛ご希望の方は、各地区総代世話人へお申し込みくださるか、直接当八幡宮社務所へお越しください。

石玉垣奉賛金…一本三萬円
（お名前または社名をお彫りします）

平成御大典記念事業 ［御大典記念シリーズⅡ］ 参集殿・社務所

昭和三十年代後半より、相模原市は東京のベッドタウンとして著しく発展し、人口は想像を絶するほどの増加となりました。これに伴い、正月の初詣は言うまでもなく、平時のご参拝やご祈祷も多くなり、また結婚式等の祝宴会場の要望もあり、これに応えるため、御大典記念事業として参集殿兼社務所を平成六年に建築しました。

吉川啓示画伯奉納干支絵画 其の二

吉川画伯は明治四十三年に上溝町久保に生まれました。神奈川県警察官として勤務される傍ら、絵画の創作に取り組み、「牡丹」「桜」「富士山」等を多く題材にしています。創刊号に引き続き、謹んで掲載いたします。

卯

梅花戯れる夫婦の図・・・耳長く行動は敏捷で繁殖力大。毛は筆になる。

辰

荒玉握る飛竜の図・・・大海や地底に住み、雲雨を操る力を持ち神霊視される。

亥

猪突猛進の図・・・むこう見ずに猛然と突き進むが、忠誠心も兼ね備える。

上溝地区交通安全母の会
秋季交通安全祈願祭

高度経済成長のもたらしたものの一つが自動車社会です。今や一人に一台の車時代になり、便利な世の中になりましたが、反面交通事故が多発し、不幸な人生を送る人が絶えません。この状況を憂いて、昭和五十五年十一月に上溝地区交通安全母の会が設立されました。爾来、毎年全国交通安全週間にちなんで、交通安全の願いを込めた折鶴を神前に供え、祈願祭を斎行し、お祓いを受けた折鶴を上溝地区八千世帯に配り、また街頭で五千羽をドライバーに渡す等、交通安全運動を展開しています。

主なる年間祭事 上半期

元旦祭…1月1日

節分祭…2月節分の日
祈念祭…2月下旬
春　祭…3月15日
ゴールド神社祭…春の全国交通安全週間
夏越祭…7月1日

神社！豆知識

手水（てみず）

鳥居をくぐり進んでいくと、手水舎があります。先ずこの手水舎に寄り、この浄水で手をお清めし、口を濯ぎ、心身を清めてからお参りします。

お知らせ

平成十九年節分祭

一、日時…平成十九年二月三日(土)
一、式典…午後三時
一、豆撒き…式典終了後
一、福男(年男)・福女(年女)の募集…当日まで
一、申込み…当宮社務所または総代世話人へお申し込みください。

亀八伏見稲荷神社 初午祭幟旗のご奉賛

一、商売繁昌・社運隆昌を祈願し二月の初午に参道に掲げます。
一、ご奉賛ご希望の方は初午祭までに当社務所へお申し込み下さい。

夏越大祓式

一、日時…平成十九年七月一日(日)
一、式典…午後三時

「浦安の舞」講習会受講生募集

●入会対象者…幼稚園児から小中高校生までの女子。●入会ご希望の方は当宮社務所へお問い合わせ下さい。